【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年 5月15日
【会社名】	武田薬品工業株式会社
【英訳名】	Takeda Pharmaceutical Company Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長谷川 閑 史
【本店の所在の場所】	大阪府大阪市中央区道修町四丁目 1 番 1 号
【電話番号】	大阪(6204)2111(代表)
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 高 原 宏
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目12番10号 (武田薬品工業株式会社東京本社)
【電話番号】	東京(3278)2111(代表)
【事務連絡者氏名】	経営管理部 主席部員 森 本 建次郎
【縦覧に供する場所】	武田薬品工業株式会社東京本社 (東京都中央区日本橋二丁目12番10号) 武田薬品工業株式会社横浜支店 (横浜市西区北幸二丁目 8 番 4 号) 武田薬品工業株式会社名古屋支店 (名古屋市西区牛島町 6 番 1 号) 武田薬品工業株式会社神戸支店 (神戸市中央区磯辺通三丁目 1 番 7 号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目 8 番16号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目 8 番20号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番 2 号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西五丁目14番地の 1)

1 【提出理由】

当社の財政状態および経営成績に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2 【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成24年4月6日

(2) 当該事象の内容

当社は、平成18年6月28日、大阪国税局より、当社と「TAPファーマシューティカル・プロダクツ Inc.」との間の平成14年3月期から平成17年3月期の6年間の「ランソプラゾール（米国製品名：プレバシド）」にかかる製品供給取引等に関して、移転価格税制に基づく更正通知書を受領しました。更正された所得金額は6年間で1,223億円であり、地方税等を含めた追徴税額571億円について同年7月に全額を納付しました。その後、当社はこの更正処分を不服として、同年8月25日に税務当局に対して、異議申立て手続きを実施しましたが、本年4月6日、大阪国税局より原処分により更正された所得金額1,223億円のうち977億円を取り消す異議決定書を受領しました。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

当該事象に伴う平成25年3月期決算における損益影響としましては、当期純利益が527億円増加することを見込んでおります。